

第2章 古賀市の男女共同参画の現状

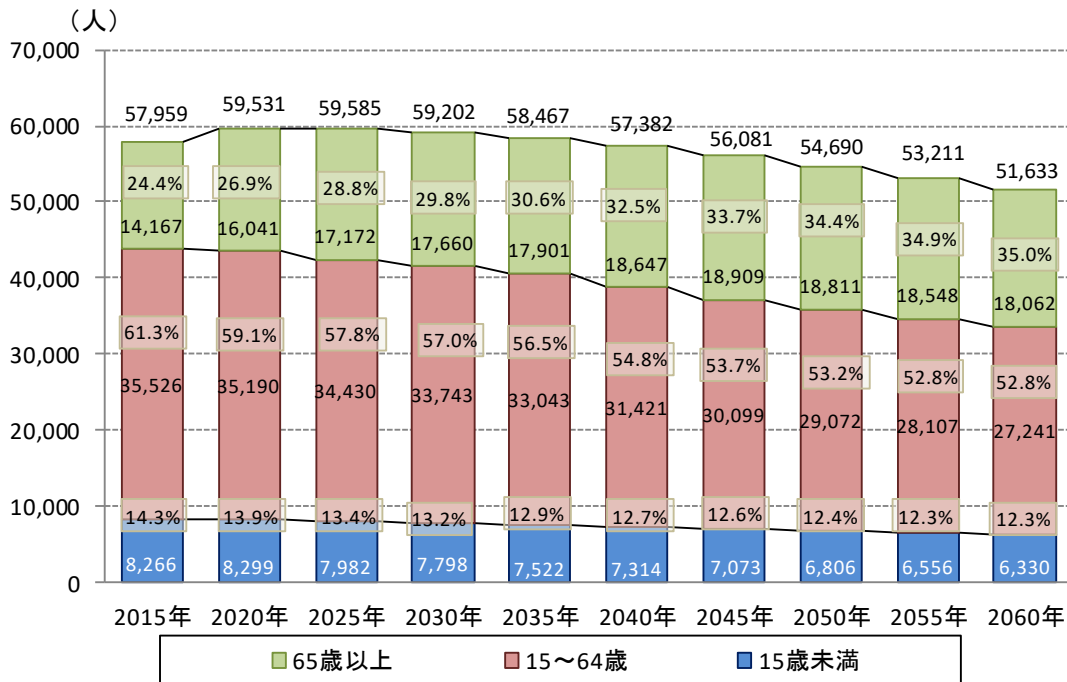
1. 人口等の現状

(1) 人口の推移

古賀市の総人口は、「国立社会保障・人口問題研究所」の最新の推計（2015年国勢調査を基準）によると、平成27(2015)年の57,959人から令和7(2025)年に59,585人と増加していますが、令和7(2025)年59,585人をピークに徐々に減少し、令和42(2060)年には51,633人になると推計されています。

年齢区分別の割合をみると、老年人口（65歳以上）は増加傾向にあり、平成27(2015)年の24.4%から令和12(2030)年には29.8%、令和42(2060)年には35.0%とさらに高齢化が進行すると推計されています。一方、生産年齢人口（15～64歳）は、平成27(2015)年の61.3%から徐々に減少傾向となっており、令和12(2030)年には57.0%、令和42(2060)年には52.8%になると推計されています。同様に年少人口も減少傾向となっており、平成27(2015)年の14.3%から令和12(2030)年には13.2%、令和42(2060)年には12.3%と推計されています。

図 年齢区分別人口割合の推移と将来推計



資料:第2期古賀市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略

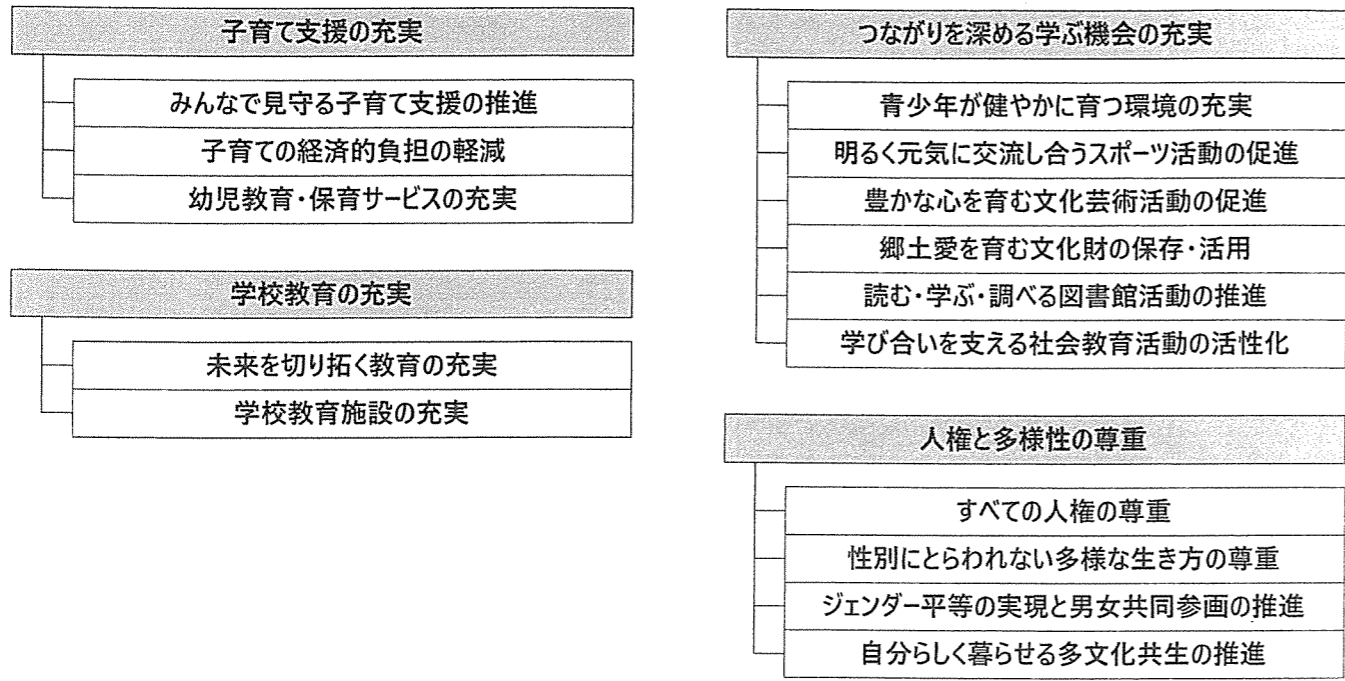
※人口推計については、社会増減は、2020年の推計値が2019年12月末現在の古賀市の人口59,523人に近い第1期社人研準拠による推計を採用し、自然増減は、第2期社人研準拠による推計で用いている社人研推計の子ども女性比率を用いた推計を使用。2015年は国勢調査による実数値です。

第3章 施策の大綱

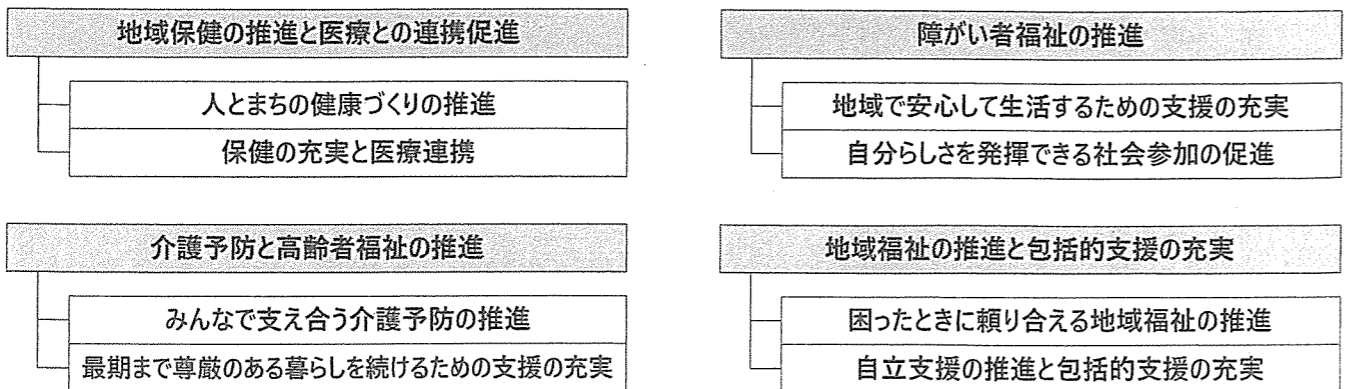
1 政策体系図

ひと育つ こが育つ

すべての人が尊重し合い 未来を拓く子どもたちが輝くまち

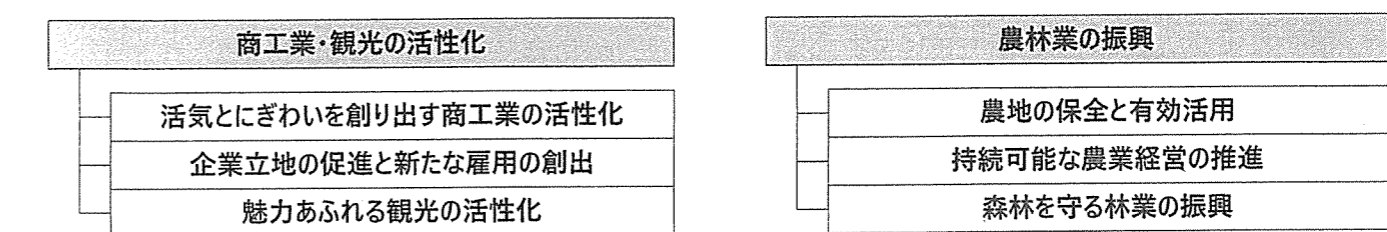


すべての人が地域で支え合い 健やかに暮らせるまち

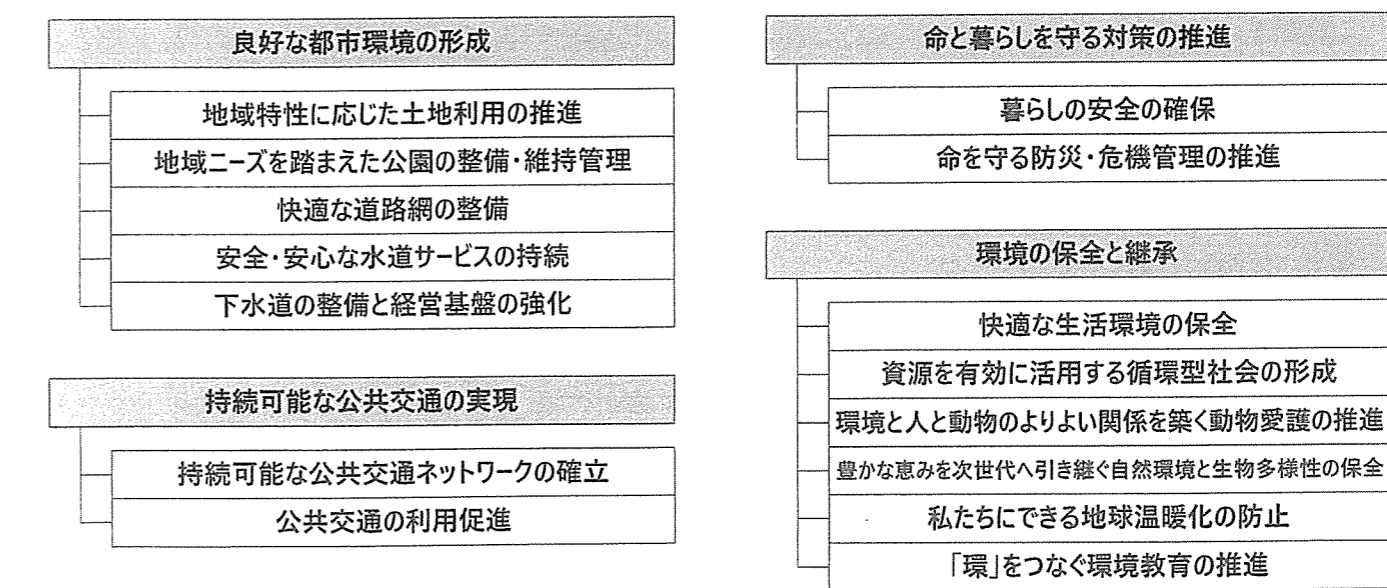


人がまちを支え まちが産業を支え 産業が人を支え みんなが育つ 未来に向かって育ち続けるまち

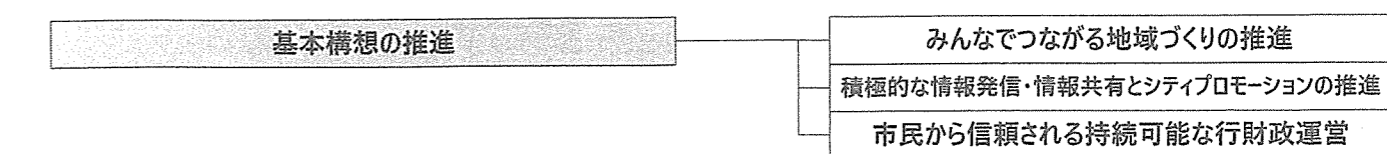
産業が暮らしを支え 地域をつなぎ すべての人が豊かさにとぎわいを感じられるまち



都市基盤と環境が調和し すべての人が快適で安心して暮らせるまち



すべての人が つながり 考え 創る みんなが主役のまち



政策 1 - 4 人権と多様性の尊重

■ 政策の目的（政策によってめざすまちの姿）

○すべての市民が個性を認め合い、尊重し合いながら、誰もが社会の構成員として主体性をもって活躍するまち

■ 施策とその方向性

1 すべての人権の尊重

年齢やジェンダー、障がいの有無、国籍などに関わらず、幅広く多様な人々を包摂するインクルーシブ社会の実現に寄与するため、部落差別をはじめとするさまざまな人権問題について、すべての市民に関心を持ってもらえるよう、記憶や印象に残る人権意識の向上のための教育・啓発を推進するとともに、個別の人権侵害に適切に対応するため、関係機関と連携を強化し、相談・支援を充実させます。

2 性別にとらわれない多様な生き方の尊重

男女の性差、性的指向や性自認に対する偏見や無理解により生じる生活上の不利益を解消し、誰もが自認する性を尊重され、自分らしく生きられるよう、性の多様性への理解を広めるとともに、多様な生き方を尊重する制度による支援を充実させます。

3 ジェンダー平等の実現と男女共同参画の推進

家庭や社会における固定的性別役割分担の意識の解消や実態の改善に向けた教育・啓発、テレワークなど在宅での働き方の普及や新たなデジタル技術の活用による家事・育児への参画促進、政策・方針決定過程への女性の参画拡大、不安定な立場に置かれやすい女性の貧困・窮乏等への対応など、家庭、学校、職場、地域社会等、あらゆる分野での女性の社会参画と男女が対等な立場で暮らしやすく、働きやすい環境づくりを推進します。

性別に関連する社会通念や慣習、経済的格差を背景とするドメスティック・バイオレンスを根絶し、誰もが社会の対等なパートナーとしてさまざまな分野で活躍できるよう、啓発を推進するとともに、関係機関との連携強化による未然防止、被害者の保護・支援に取り組みます。

4 自分らしく暮らせる多文化共生の推進

出身地やルーツがどこにあっても、言葉や文化の違いによって悩むことなく安心して暮らしていけるよう、さまざまな関係機関や関係団体との連携を強化するとともに、誰とでもコミュニケーションが円滑にとれるような支援や多文化共生に関する啓発を推進します。また、生活に必要な情報をわかりやすく発信し、適切な情報とサポートを受けることができるよう支援します。

多くの世代が多様な文化や外国語に触れる機会の提供や多文化交流を促進し、国や地域を超えて協力できる国際感覚を醸成するとともに、文化の多様性を理解、尊重し合いながら、自分の住んでいる国や地域の魅力を深く知り、自分らしさを発揮してともに生きていけるような取組を推進します。

世界経済フォーラムが「ジェンダー・ギャップ指数2021」を公表

内閣府男女共同参画局総務課

世界経済フォーラム（World Economic Forum：WEF）が2021年3月、「The Global Gender Gap Report 2021」を公表し、各国における男女格差を測るジェンダーギャップ指数（Gender Gap Index：GGI）を発表しました。この指数は、「経済」「政治」「教育」「健康」の4つの分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を示しています。2021年の日本の総合スコアは0.656、順位は156か国中120位（前回は153か国中121位）でした。前回と比べて、スコア、順位ともに、ほぼ横ばいとなっており、先進国の中で最低レベル、アジア諸国の中で韓国や中国、ASEAN諸国より低い結果となりました。

ジェンダーギャップ指数（2021） 上位国及び主な国の順位

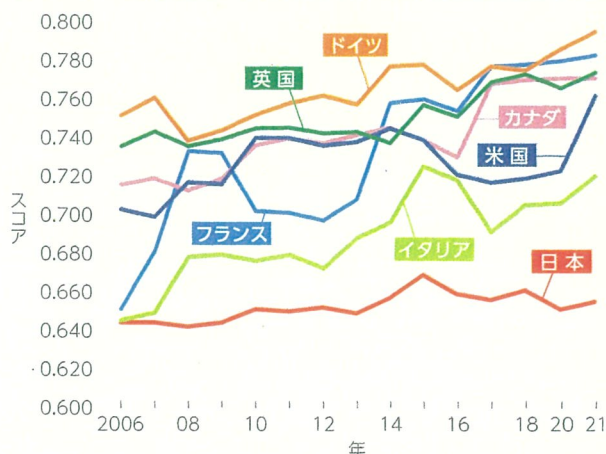
順位	国名	値	前年値	前年からの 順位変動
1	アイスランド	0.892	0.877	-
2	フィンランド	0.861	0.832	1
3	ノルウェー	0.849	0.842	-1
4	ニュージーランド	0.840	0.799	2
5	スウェーデン	0.823	0.820	-1
11	ドイツ	0.796	0.787	-1
16	フランス	0.784	0.781	-1
23	英国	0.775	0.767	-2
24	カナダ	0.772	0.772	-5
30	米国	0.763	0.724	23
63	イタリア	0.721	0.707	13
79	タイ	0.710	0.708	-4
81	ロシア	0.708	0.706	-
87	ベトナム	0.701	0.700	-
101	インドネシア	0.688	0.700	-16
102	韓国	0.687	0.672	6
107	中国	0.682	0.676	-1
119	アングラ	0.657	0.660	-1
120	日本	0.656	0.652	1
121	シエラレオネ	0.655	0.668	-10

各分野における日本のスコアは、次のとおりです。

分野	スコア	昨年のスコア
経済	0.604	0.598
政治	0.061	0.049
教育	0.983	0.983
健康	0.973	0.979

日本は、特に、「経済」及び「政治」における順位が低くなっており、「経済」の順位は156か国中117位（前回は115位）、「政治」の順位は156か国中147位（前回は144位）となっています。政治分野では、スコアは上がっているものの、順位は下がっています。これは、各国がジェンダー平等に向けた努力を加速している中で、日本が遅れを取っていることを示しています。

G7各国のGGI比較



※2018年公表までは、公表年のレポートが公表されていたが、2019年公表分は「GGGR 2020」となり、2020年のインデックスとして公表されたため、年の数字が連続していない。

WEFのレポートでは、日本は政治分野において格差が縮小したものの女性の参加割合が低く、国会議員の女性割合は9.9%、大臣の同割合は10%に過ぎないことにより、「政治」のスコアが0.061と低いままであることが述べられています。さらに過去50年間、女性の行政の長は存在していないことも指摘されています。また、経済分野についても、管理職の女性の割合が低いこと（14.7%）、女性の72%が労働力になっている一方パートタイムの職に就いている女性の割合は男性のほぼ2倍であり、女性の平均所得は男性より43.7%低くなっていることが指摘されています。

詳しくはこちらを御覧ください。

Global Gender Gap Report 2021
<https://www.weforum.org/reports/global-gender-gap-report-2021>



持続可能な開発目標 (SDGs)について

SDGsとは

SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。



SDGsの構造

17のゴールは、①貧困や飢餓、教育など未だに解決を見ない社会面の開発アジェンダ、②エネルギーや資源の有効活用、働き方の改善、不平等の解消などすべての国が持続可能な形で経済成長を目指す経済アジェンダ、そして③地球環境や気候変動など地球規模で取り組むべき環境アジェンダといった世界が直面する課題を網羅的に示しています。SDGsは、これら社会、経済、環境の3側面から捉えることのできる17のゴールを、統合的に解決しながら持続可能なよりよい未来を築くことを目標としています。

SDGsの特徴

前身のMDGs(Millennium Development Goals: ミレニアム開発目標)は主として開発途上国向けの目標でしたが、SDGsは、先進国も含め、全ての国が取り組むべき普遍的(ユニバーサル)な目標となっています。(図1)

しかしながら、これらの目標は、各国政府による取組だけでは達成が困難です。企業や地方自治体、アカデミアや市民社会、そして一人ひとりに至るまで、すべてのひとの行動が求められている点がSDGsの大きな特徴です。

まさにSDGs達成のカギは、一人ひとりの行動に委ねられているのです。

人間の安全保障との関連性

我が国は脆弱な立場にある一人一人に焦点を当てる「人間の安全保障」の考え方を国際社会で長年主導してきました。「誰一人取り残さない」というSDGsの理念は、こうした考え方も一致するものです。

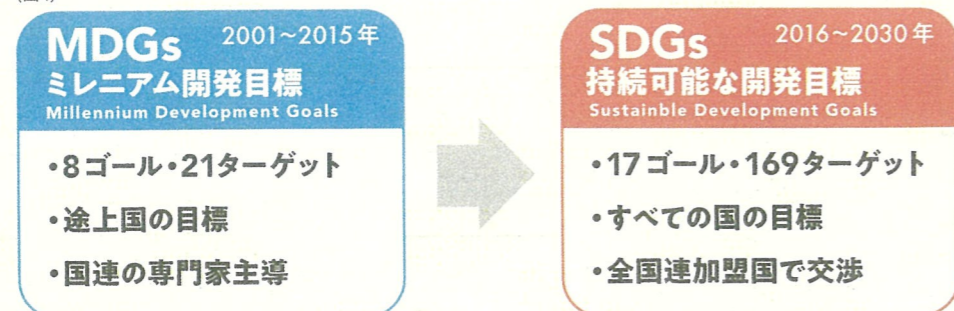
SDGs達成に向けて

2019年9月に開催された「SDGサミット」で、グテーレス国連事務総長は、「取組は進展したが、達成状況には偏りや遅れがあり、あるべき姿からはほど遠く、今、取組を拡大・加速しなければならない。2030年までをSDGs達成に向けた『行動の10年』とする必要がある」とSDGsの進捗に危機感を表明しました。

2020年、新型コロナウイルス感染症が瞬く間に地球規模で拡大したことから明らかのように、グローバル化が進んだ現代においては、国境を越えて影響を及ぼす課題に、より一層、国際社会が団結して取り組む必要があります。

SDGs達成に向けた道のりは決して明るいものではありません。だからこそ、「行動の10年」に突入した今、私たち一人ひとりにできることをしっかりと考え、一歩踏み出す姿勢が求められています。

(図1)



持続可能な開発目標(SDGs)の詳細

- | | | | |
|-----------------------------|---|------------------------|--|
| 1 貧困をなくそう | 目標1 [貧困]
あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる | 2 飢餓をゼロに | 目標2 [飢餓]
飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 目標3 [保健]
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する | 4 質の高い教育をみんなに | 目標4 [教育]
すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 目標5 [ジェンダー]
ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う | 6 安全な水とトイレを世界中に | 目標6 [水・衛生]
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 目標7 [エネルギー]
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する | 8 働きがいも経済成長も | 目標8 [経済成長と雇用]
包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する |
| 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | 目標9 [インフラ、産業化、イノベーション]
強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る | 10 人や国の不平等をなくそう | 目標10 [不平等]
国内及び各国家間の不平等を是正する |
| 11 住み続けられるまちづくりを | 目標11 [持続可能な都市]
包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する | 12 つくる責任 つかう責任 | 目標12 [持続可能な消費と生産]
持続可能な消費生産形態を確保する |
| 13 気候変動に具体的な対策を | 目標13 [気候変動]
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる | 14 海の豊かさを守ろう | 目標14 [海洋資源]
持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する |
| 15 陸の豊かさも守ろう | 目標15 [陸上資源]
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する | 16 平和と公正をすべての人に | 目標16 [平和]
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する |
| 17 パートナリシップで目標を達成しよう | 目標17 [実施手段]
持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化 | | |

古賀北中学校 人権教室「デートDV防止プログラム」集計結果

- 1 実施日 令和3年7月7日(水)
- 2 受講生徒数 179名 (6クラス 2クラス並行実施)
- 3 人権擁護委員数 10名
- 4 振り返りシート集約 ※別紙グラフ参照

(1) デートDVの知識について、受講前は117名(65.7%)の生徒に知識があったが、受講後は177名(98.9%)で、60名(33.2%)増加し、ほとんどの生徒が理解できていた。また、身近でのデートDVの有無を問うと、92名(50.6%)で半数の生徒が身近にあると感じていた。

(2) 「デートDVに悩んだときは相談する」は、94.9%で相談相手として自分に身近な友達や家族に相談するが61.9%で、先生、相談機関が続いていた。また、「相談しない」が15名(5.1%)で気になる場所である。

(3) 人権については、「できた」が92.2%、「少しできた」が7.8%で、全員がほぼ理解できており講座の効果は大いにあったと考えられる。

〈振り返りシート集約結果(問1～問6)〉

問1 あなたは今日の人権教室を受ける前に、「デートDV」を知っていましたか？

回答	知っていた	少し知っていた	聞いたことはある	全く知らなかった	計
人数	24名	52名	42名	61名	179名
比率	12.9%	29.2%	23.6%	34.3%	100%

問2 あなたは人権教室を受講して「デートDV」のことがわかりましたか？

回答	よくわかった	わかった	少しわかった	よくわからなかった	計
人数	139名	34名	4名	2名	179名
比率	77.7%	19.0%	2.2%	1.1%	100%

問3 「デートDV」は自分にとって身近なことだと感じますか？

回答	身近と感じる	少し感じる	あまり感じない	身近ではない	無回答	計
人数	29名	61名	66名	22名	1名	179名
比率	16.2%	34.1%	36.9%	12.3%	0.6%	100%

問4 今回の受講で特に印象に残ったのは、どんなことですか？(複数選択可)

回答	暴力の種類	暴力の構造	自分らしさ	話し合う	対等な関係	相談の大切さ	暴力に正当化無し	自分を大切に	その他	計
人数	63名	25名	24名	47名	99名	70名	116名	92名	0名	536名
比率	11.8%	4.7%	4.5%	8.8%	18.5%	13.1%	21.6%	17.2%	0%	100%

問5 あなたが「デートDV」に悩んだら？(複数選択可)

回答	家族に相談	先生に相談	友達に相談	相談機関等に相談	相談しない	計
人数	65名	47名	117名	50名	15名	294名
比率	22.1%	16.0%	39.8%	17.0%	5.1%	100%

問6 あなたは人権について考えることができましたか？

回答	できた	少しできた	あまりできなかった	全くできなかった	計
人数	165名	14名	0名	0名	179名
比率	92.2%	7.8%	0%	0%	100%

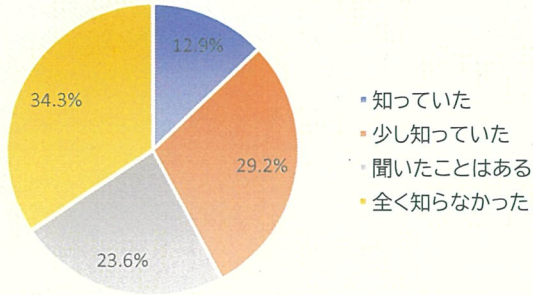
5 自由記入の集計・分析

・デートDVのことは全く知らなかった。DVは暴力を振るうだけと思っていたが、言葉、お金、無視など身近なところにもいろんなDVがあるということに驚いた。また、「暴力に正当化はない」という言葉が心に残った。

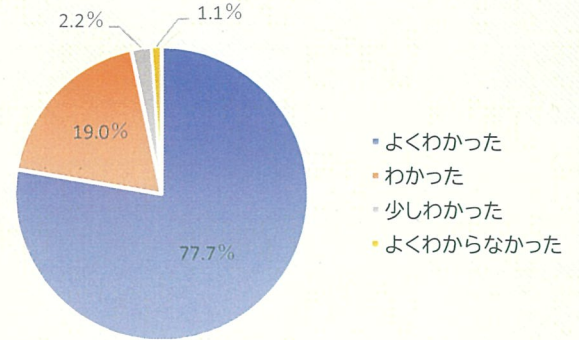
・デートDVを防止するには対等な関係を築くことがとても重要であり、悩んだときは一人で抱え込まないで友達や家族等に相談したりすることの大切さを学んだ。

・彼女ができれば、彼女に対する考えが変わってデートDVをする可能性があるのでは、彼女を作ろうとは思わない。

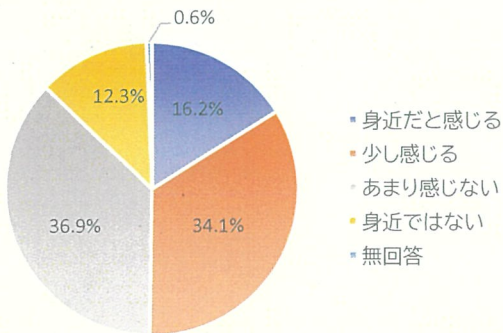
問1
あなたは今日の人権教室を受ける前に、「デートDV」を知っていましたか？



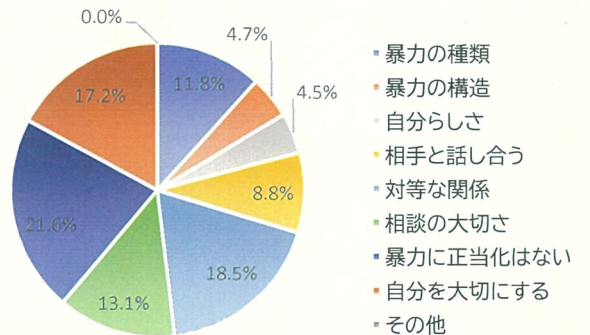
問2
あなたは人権教室を受講して「デートDV」のことがわかりましたか？



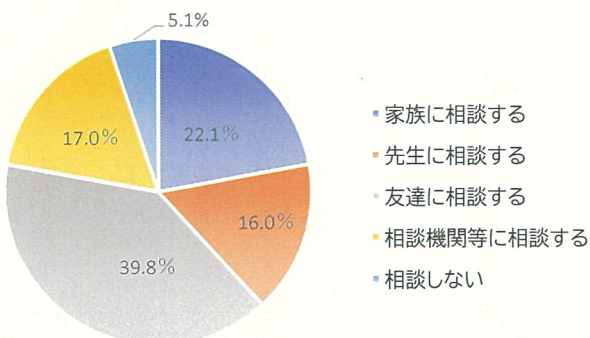
問3
「デートDV」は自分にとって身近なことだと感じますか？



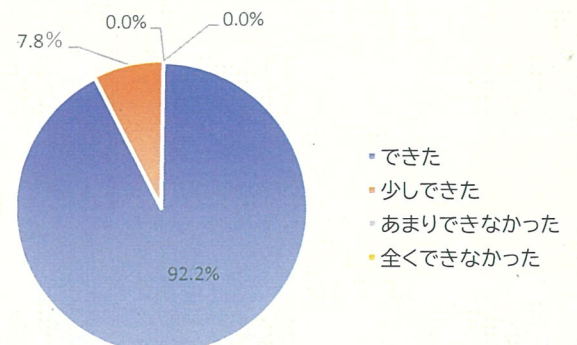
問4
今回の受講で特に印象に残ったのは、どんなことですか？(複数選択可)



問5
あなたが「デートDV」に悩んだら？
(複数選択可)



問6
あなたは人権について考えることができましたか？



2021 古賀北中学校 人権教室「デートDV防止プログラム」集計表

問1 あなたは今日の人権教室を受ける前に、「デートDV」を知っていましたか？

区 分		1組	2組	3組	4組	5組	6組	計	比率 (%)
回 答	知っていた	3	2	3	5	5	6	24	12.9
	少し知っていた	8	9	9	4	13	9	52	29.2
	聞いたことはある	11	7	2	9	5	8	42	23.6
	全く知らなかった	9	5	15	14	9	9	61	34.3
	計	31	23	29	32	32	32	179	100.0

問2 あなたは人権教室を受講して「デートDV」のことがわかりましたか？

区 分		1組	2組	3組	4組	5組	6組	計	比率 (%)
回 答	よくわかった	30	17	20	24	23	25	139	77.7
	わかった	1	6	8	6	6	7	34	19.0
	少しわかった	0	0	0	2	2	0	4	2.2
	よくわからなかった	0	0	1	0	1	0	2	1.1
	計	31	23	29	32	32	32	179	100.0

問3 「デートDV」は自分にとって身近なことだと感じますか？

区 分		1組	2組	3組	4組	5組	6組	計	比率 (%)
回 答	身近だと感じる	7	2	7	7	3	3	29	16.2
	少し感じる	12	11	6	7	13	12	61	34.1
	あまり感じない	9	7	11	15	11	13	66	36.9
	身近ではない	3	3	5	2	5	4	22	12.3
	無回答	0	0	0	1	0	0	1	0.6
	計	31	23	29	32	32	32	179	100.0

問4 今回の受講で特に印象に残ったのは、どんなことですか？（複数選択可）

区 分		1組	2組	3組	4組	5組	6組	計	比率 (%)
回 答	暴力の種類	9	9	13	11	9	12	63	11.8
	暴力の構造	8	3	5	3	3	3	25	4.7
	自分らしさ	5	1	6	5	3	4	24	4.5
	相手と話し合う	12	2	10	7	13	3	47	8.8
	対等な関係	20	9	17	21	17	15	99	18.5
	相談の大切さ	14	11	12	12	14	7	70	13.1
	暴力に正当化はない	24	16	21	19	16	20	116	21.6
	自分を大切にする	15	8	16	20	18	15	92	17.2
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	107	59	100	98	93	79	536	100.0	

問5 あなたが「デートDV」に悩んだら？（複数選択可）

区 分		1組	2組	3組	4組	5組	6組	計	比率 (%)
回 答	家族に相談する	14	6	12	9	9	15	65	22.1
	先生に相談する	10	8	8	10	6	5	47	16.0
	友達に相談する	23	15	21	25	11	22	117	39.8
	相談機関等に相談する	10	7	11	8	7	7	50	17.0
	相談しない	2	1	2	3	5	2	15	5.1
	計	59	37	54	55	38	51	294	100.0

問6 あなたは人権について考えることができましたか？

区 分		1組	2組	3組	4組	5組	6組	計	比率 (%)
回 答	できた	31	20	25	31	30	28	165	92.2
	少しできた	0	3	4	1	2	4	14	7.8
	あまりできなかった	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	全くできなかった	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	計	31	23	29	32	32	32	179	100.0